

室蘭民報創刊
65周年記念

室民エコ大賞

洞爺高校が受賞

室蘭民報社が創刊65周年を記念して公募していた「室民エコ大賞」に洞爺高校が受賞しました。

一般家庭や団体など西胆振管内から32件の応募があり、その中から洞爺高校の学校ぐるみで行っている「ECOプロジェクト」の活動が高く評価され、同賞に選ばれました。

同校では、平成19年度より「環境のための地球学習観測プログラム(GLOBE)」の文部省科学省の指定校となり、家庭科の学校の特色をいかそうと環境学習と販売学習を深化させた

「ECOプロジェクト」を発足させました。

同プロジェクトの構成は、2年生の選択科目「消費生活」を選択した生徒で、できることをできることからはじめよう！」をテーマに、昨年は8人が様々な実践活動に挑みました。

地産地消の推進では、地場産品を使って、マドレーヌ、シフォンケーキなどを作り、手作り食品で洞爺湖町PRに「役立ちました。

買物を楽しめるデザイン性重視のエコバッグと古新聞を利用したエコバッグという2種類の

バッグも大変好評で、特に新聞エコバッグは、水の駅から依頼を受けるほどでした。

日常使う石けんも、調理実習や寮生活で排出される食品油を使い、水質浄化に効果があるEM菌エコ石けん作りに取り組みました。

今年も、同プロジェクトが2年生の必修科目となり、人数が多くなるので、一層活発に活動してくれらると思う」と昨年のリーダーの鈴木一輝くんは、後輩達の活躍ぶりに期待していました。

喜びの声

鈴木 一輝さん
「最初は驚きました。この受賞を励みに、後輩達も活動を続けて行って欲しい」

安斉 仁志さん
「自分達でも取組めたので、他の人もできることから実践して欲しい」

中川麻里奈さん
「ささいなエコ活動が評価され嬉しい。回りにもひろげていきたい」

合田 一美さん
「今まで苦勞もあったけど、エコ大賞を受賞できてよかった」

平井 優汰さん
「活動を知ってもらい、いろんな人が環境に興味をもってくれたら嬉しい」

古賀 美鈴さん
「活動を通して、地域の人とふれ合い、環境のことを知らせることができて嬉しい」

佐藤 舞さん
「小さな学校で行ったこの活動で、大賞を受賞することができてとても嬉しい」

辻 早也花さん
「驚きました。この受賞に恥じない生活をこれからもしていきたい」



受賞を喜ぶ昨年度のECOプロジェクトに取り組んだ生徒たち